



建築とっとり

No.99
2019.3



CONTENTS

巻頭言 ■ 石田 耕太郎 倉吉市長	3
愛着と誇り ー新しい倉吉のまちづくりに向けー	
メッセージ ■ 霜村 将博 会長	4
支部の動き ■ 塚田 隆 副会長（東部担当）	5
井手添 誠 副会長（中部担当）	6
吉田 成年 副会長（西部担当）	7
作品紹介 ■ 鳥取県立中央病院	8－14
海外研修報告 ■ 藤井 泰徳 (有)フジイ総合設計事務所	15
県外研修報告 ■ 宮本 秀成 (株)エクス・プラン	16－17
事務局だより ■ 会議報告、会員の異動、行事予定	18－19

表紙のことば

鳥取県立中央病院



昭和50年に鳥取市江津に新築移転され、40年を迎えます。既存病院は施設自体の老朽化に加え、非常に狭小であり高度医療の提供において大きな支障となっておりました。鳥取県東部圏域にとどまらず、県中部、兵庫県北部も対象圏域として、他の医療機関では対応が困難な高度急性期医療等を担うため、431床から518床に増床する新病院建替整備事業に着手しました。平成26年から設計、平成28年から工事に着手し平成30年10月に完了を迎え、同年12月に新病院をオープンしました。

愛着と誇り ー新しい倉吉のまちづくりに向けてー

震災から完全復興



倉吉市長

石田 耕太郎

昭和28年の市政施行以来、第11次にわたる総合計画を策定し、豊かな自然と長年培われてきた歴史・文化を活かしたまちづくりを進めてきました。「愛着と誇り 未来いきいき みんながつくる倉吉」をスローガンに掲げ、倉吉の次世代の皆様は自信をもって引き継ぐことのできる元気なまちづくりを市民の皆さんと共に進めています。しかし、国内の社会経済動向は、進行する少子高齢化による人口減少・超高齢化社会の到来、経済のグローバル化、環境問題の顕在化、鳥取県中部地震の影響により深刻さを増す財政状況など倉吉市のまちづくりにさまざまな面で大きな影響をもたらしています。

現在の市政の課題

第一は、やはり「震災からの復旧・復興」、これが最優先の課題だと思っています。できるだけ早く仕上げていく努力をして、早いうちに完全復興をやり遂げなければと思っています。そして、本市の公共施設の最後に行う第2庁舎の整備等も復興事業といえます。昨年も大雨等による被害が本市にも甚大な被害を与えました。これら災害に対する備えも早急に進める必要があります。

人口減少対策

それに加えて、これは倉吉だけの問題ではなく全国的な課題でもある「人口減少対策」です。少子高齢化の中で、地域の活力という面では非常に重要な問題でもあるこの人口減少問題にしっかりと取り組み、いろいろな政策を打ち、成果をあげなければならないと思っています。そういう意味でも、中心市街地の活性化や、農業も含めた観光そして建設など産業振興を通じて、しっかり雇用を確保しながら経済力を高めていく、そういう努力をしていかなければなりません。そういった中で、若い人たちに倉吉に定着していただくための条件を整備していかなければならないと思っています。そして、条件の一つは雇用の場をしっかりと確保すること。特に若い人たちのニーズに合った職場を確保することだと思います。企業誘致だけではなく地元の既存企業や起業なども含めてバラエティに富んだ企

業を確保し、いろいろな選択肢を準備する努力をしていく必要があります。それともう一つは、非常に負担感が大きいといわれる子育てへの支援です。子育て支援体制をきっちり整え、充実させ、また負担感を軽減していくよう取り組みます。そういったことで若い人たちの定住の基盤を整え、子どもの数を増やしていく努力が必要だと思っています。

中心市街地の活性化

今まで倉吉の発展を担ってきたこの中心市街地に、最近少し活力がないということが言われています。行政でも「中心市街地活性化基本計画」を作っている取り組みをしています。最近では市民の皆さんの中でも、もう一度この中心市街地を何とか元気にしていこうという機運が出てきています。また、いくつかの企業が力を合わせて中核的な施設の設置をし、活性化につなげようという動きも出ています。そういう動きをできるだけ後押ししていく努力をしながら、市街地の活性化につなげていきたいと思っています。賑わいづくりの模索そのなかで、民間の企業から寄付していただいた施設を市役所の第2庁舎として活用しながら、中心市街地の賑わいづくりにつなげることを模索しています。また、4月にオープンした円形劇場くらよしフィギュアミュージアム、倉吉に建設が決まった県立美術館などをしっかり活用しながら観光客にたくさん来ていただき、元気な倉吉のまちにつなげていく、そして人口減少対策にもつなげる取り組みが必要だと思っています。

最後に

いろいろ述べてきましたが全てを一度に組み合わせることはできません。優先順位をつけながらひとつひとつの課題に取り組んでまいりたいと考えています。最後になりましたが昨年締結させていただいた建築士事務所協会様との災害防止に関する協定は市民の大きな安心につながり復興事業につながる取り組みのひとつです。今後とも本市の建築や住宅、空き家の対策にご助力いただきますようお願い申し上げます。

会長メッセージ

会長 霜村 將博



会員の皆様、そして賛助会員の皆様、平成30年度事業に多大なるご協力を頂き、全ての事業が終了しました事に、心より感謝を申し上げます。

その中でも特筆すべきものとしては、昨年10月に倉吉市と、災害時に於ける設計支援業務に関する協定の締結を行った事、そして同10月の全国大会で3年前に次いで2回目の会員増強単位会として全国表彰を受けたことなどが挙げられます。

そして、本年も取り組むべき事業が数多くある中、国の制度改革などを踏まえて次のような事業に力を注いで参りたいと思います。

1)、建築士資格試験制度の緩和について

昨年12月末に建築士法の一部を改正する法律が国会で可決され、資格試験が以前に比べて受験しやすくなります。来年の試験から適用されると聞いておりますが、各企業の職員の皆様や、これから建築士を目指す若い方々に周知を図り、若い後継者が増えて行く様な業界にして行きたいものです。

2)、新業務報酬基準(平成31年国土交通省告示第98号)の周知・普及について

この度新しく業務報酬基準が改正されました。この基準は私達企業が経営基盤を安定させるために、適正な業務報酬を得るための重要な基準となっておりますので、官民を問わずこの基準を適用して頂く様に強く要望をして参りたいと思っています。

3)、会員増強について

本協会では近年、会員の皆様のご協力により会員・賛助会員数が徐々に増えてきておりますが、全国的にはまだまだ増やさなくてはならないとのことで、この度日事連に会員増強委員会が立ち上げられました。「数は力なり」という考えもありますので、益々の

皆様のご協力をお願いします。

4)、日事連全国大会の地方開催について

日事連全国大会はこれまで、東京開催と地方開催を交互にやってきましたが、昨年規約が改正されて、これからは全て地方開催となりました。来年度以降は福島県、福井県、熊本県そして中四国ブロックでの開催となっております。まだ、どの県で開催するか決まっていますが、来年度中か再来年度初旬までには決めなければならないのが現状です。

5)、設備設計の分離発注について

公共工事に於ける設備設計の分離発注については過去何年にも渡って要望を重ねているところではありますが、設備設計事務所には一級建築士事務所が少ないことなどを理由になかなか改善されません。しかしながら近年一級建築士事務所も増えてきており、設備設計が一つの建築産業に育っていけば、設備設計事務所も増え、自ずと若い技術者も業界に入ってきてくれるものと思います。

6)、各企業の福利厚生面の充実について

現在、働き方改革を推し進めるうえで若者の意見を聞くと、企業に対して色々な要望がある中の一つとして、福利厚生面の充実した企業という事が挙げられます。日事連とJIAは共同事業として建築士事務所企業年金基金への加入を募っておりますので、開設者の皆様には加入のご検討、ご協力をお願いします。

この様に様々な事業を通じ業界全体で、若者が建築に魅力を感じ、そんな世界で仕事がしてみたいと思えるような環境を創り上げて行きたいものだと考えておりますので、会員・賛助会員の皆様には益々のご協力をお願い申し上げ挨拶とします。



一木会 平成30年度後半の活動報告

■第3回一木会例会

- 開催日** 平成30年10月4日(木) 午後4時45分～午後8時
- 場 所** しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数** 43名
- 内 容**
- 1) 委員会報告
 - 2) 賛助会員企業PR
 - ①福間商事(株)
 - ②(株)サカモト
 - ③中国電力(株)鳥取統括セールスセンター
 - 3) 懇親会



第3回一木会例会



- 内 容**
- 1) 委員会報告
 - 2) 鳥取県建築士事務所協会東部支部、鳥取県建築士会東部支部合同ゴルフコンペ報告
 - 3) 技術講習会
 - アルミサッシ・カーテンウォール防火認定の各メーカーの対応について
 - ・(株)LIXIL
 - ・YKKAP(株)
 - 4) 賛助会員企業PR
 - ①(株)モリックスジャパン
 - ②久大建材(株)
 - 5) 忘年会



第4回一木会例会



■住まいの無料相談会開催

- 開催日** 平成30年10月13日(土)・14日(日)
午前10時～午後5時
- 場 所** 鳥取産業体育館(鳥取市天神町50-2)
木の住まいフェアと同時開催
- 相談員** 上山善博、門脇 昇、
来田信浩、佐藤 実、
塚田 隆、早田照彦
- 相談件数** 8件
- ※会員の皆様ご協力ありがとうございました。



住まいの無料相談会

■鳥取県建築士事務所協会東部支部、鳥取県建築士会東部支部合同ゴルフコンペ

- 開催日** 平成30年10月20日(土)
- 場 所** 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 湖山コース
- 参加人数** 31人

■第4回一木会例会

- 開催日** 平成30年12月6日(木) 午後4時20分～
- 場 所** しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数** 57名

■鳥取市との意見交換会

- 開催日** 平成31年2月4日(月)
- 場 所** 鳥取市役所本庁舎
- 出席者** 鳥 取 市 都市整備部部长、次長兼建設指導課長、
建築住宅課長、建築住宅課住宅建設係長、
建築住宅課学校建設係長、建築住宅課施設建設係長、総務調整局財産経営課長、
次長兼教育総務課長、都市企画課課長
- 東部支部 支部長 塚田 隆、霜村将博、門脇 昇、
佐藤 実、小谷雅昭、松島浩之、西村純一、
福田洋之

議 題

- ① 建築設計・工事監理業務について
 - (1) 特定建築物定期調査報告業務について
 - (2) 改修工事の設計業務等の算出根拠の公開について
 - (3) 設備を含む設計・監理業務の担当者について
 - (4) 工事監理業務の資格要件等の緩和について
 - (5) 鳥取市の工事監理業務における書類等の作成について
 - (6) 設計業務における印刷製本費の計上について
 - (7) 成果品の納品について
- ② 入札制度について
 - (1) 建築設計業務の受注機会の均等化について
 - (2) 設備設計・監理の分離発注対象物件の拡大について
- ③ 第三者監理制度の見直しについて
- ④ 業務発注について
 - (1) 業務発注を平準化していただくか、又は業務期間を長く設定していただきたい
 - (2) デザイン・ビルド方式(DB方式)の発注について
 - (3) PPP/PFIの導入について

副会長（中部担当） 井手 添 誠



平成最後の年、平成31年になりました。5月には、新しい気持ちで新元号を迎えたいと思っております。その意味で、平成の総括のような気持ちで事業を行いました。

まず、過去2年間開催ができなかった「木の住まいフェア～住まいの無料相談会～」を開催することができました。近年は、「倉吉ばえん祭」と同日に開催をしておりますが、一昨年は、鳥取県中部地震により、また昨年は、台風の到来により、中止になっていましたが、今年3年ぶりに開催することができて、ホッとしています。

そして、一水会12月例会を海外研修として、台北に行く

ことにしました。平成後期になり、温暖化の影響が自然災害が多く発生しているように感じます。ボランティア活動なども多く、疲弊しているように感じていましたので、メンバー皆さんの親睦のために計画をしました。25名と多くの人に参加していただき、大きな事故(?)もなく終了できたことに感謝しています。

設計料の算定基準となっている告示15号も告示98号に改正されました。次年度は、外部に対しての広報などを行っていきたいと思っております。一年間、お世話になりました。

一水会 平成30年度後半の活動報告

[10月例会]

■「これからの耐震天井について」

開催日 平成30年10月3日(水)

場 所 倉吉シティホテル

参加人数 45名

三洋工業(株)様による、耐震天井についての講習がありました。



[建築士事務所キャンペーン]

■「木の住まいフェア～住まいの無料相談会～」

開催日 平成30年10月21日(日)

場 所 倉吉駅南噴水広場

相談員 11名

(社)鳥取県木造住宅推進協議会主催「2018木の住まいフェア」にて無料相談会を開催しました。

[12月例会]

■一水会及び建築士会中部支部合同海外研修

開催日 平成30年11月25日(日)～27日(火)

行き先 台湾

参加人数 25名

鳥取県建築士会中部支部と合同で海外研修を行いました。



故宮博物館

■平成30年度 鳥取県中部建設業協会及び鳥取県中部建築協議会との意見交換会

開催日 平成30年12月10日(月)

場 所 倉吉シティホテル

参加人数 7名

鳥取県中部建設業協会及び鳥取県中部建築協議会との意見交換会を行いました。



[2月例会]

■「倉吉市庁舎議会棟耐震改修」

開催日 平成31年2月6日(水)

場 所 倉吉シティホテル

参加人数 49名

(有)堂計画室 生田昭夫氏を講師として倉吉市庁舎議会棟耐震改修についての研修を行いました。





山水会 平成30年度後半の活動報告

■住まいの無料相談会

開催日 平成30年9月30日（日）
場 所 米子産業体育館
相談員 午前午後 延べ10名

木の住まいフェアと共催して住まいの無料相談会を実施しました。

当日は、木造住宅の耐震、リフォームなどに関する相談などで7件の相談があり、今回初めて、住まいの土地についての地盤診断・リスクについて無料の地盤カルテを作成する試みを行い、約70名の方が、自分の住まいの土地の無料診断カルテを受けられました。

この試みは大変好評で来年も是非行いたいと考えています。



■山水会秋のゴルフコンペ

開催日 平成30年11月14日（水）
場 所 大山アークカントリークラブ
参加人数 24名

秋の心地よい天気の中、恒例の山水会ゴルフコンペを開催しました。

優勝は、(株)亀山設計の亀山浩一様、準優勝は大同警備保障(有)の船田正一様でした。参加された皆様、心地よい汗をかけた秋の一日を満喫されました。



■12月例会

開催日 平成30年12月20日（木）
講 演 米子市の建築に関する補助金制度について
講 師 米子市都市整備部次長 湯澤真一郎氏
場 所 国際ファミリープラザ
参加人数 52名

米子市の湯澤次長を講師にお招きし、米子市の補助金制度についてご説明頂きました。

沢山の補助金制度が用意されていて、知らない制度も沢山あり、使わないともったいない制度も数多くありましたので、会員、賛助会員ともに大変勉強になりました。

また、講演会のあと当協会の斉木顧問、野坂県議会議員をお招きして同建物のシュシュにて山水会の忘年会を開催しました。大変賑やかで楽しい会となり平成30年を締めくくりました。





新病院の基本理念

鳥取県東部医療圏の中核的病院として、医療の高度化や変革に適応できる可変性を重視し、患者・家族に信頼され、安全で高品質の医療を提供できる病院を整備する。

- (1) 高度医療を提供する病院
- (2) 安全で信頼される病院
- (3) 患者・家族に開かれたやさしい病院
- (4) 災害に強い病院
- (5) 経営効率に配慮した病院
- (6) 職員が最大限の能力を発揮できる働きやすい病院

新病院の基本方針

鳥取県東部の医療環境及び鳥取県立中央病院の役割を認識し、高度急性期医療を継続的に提供できる施設を整備する。

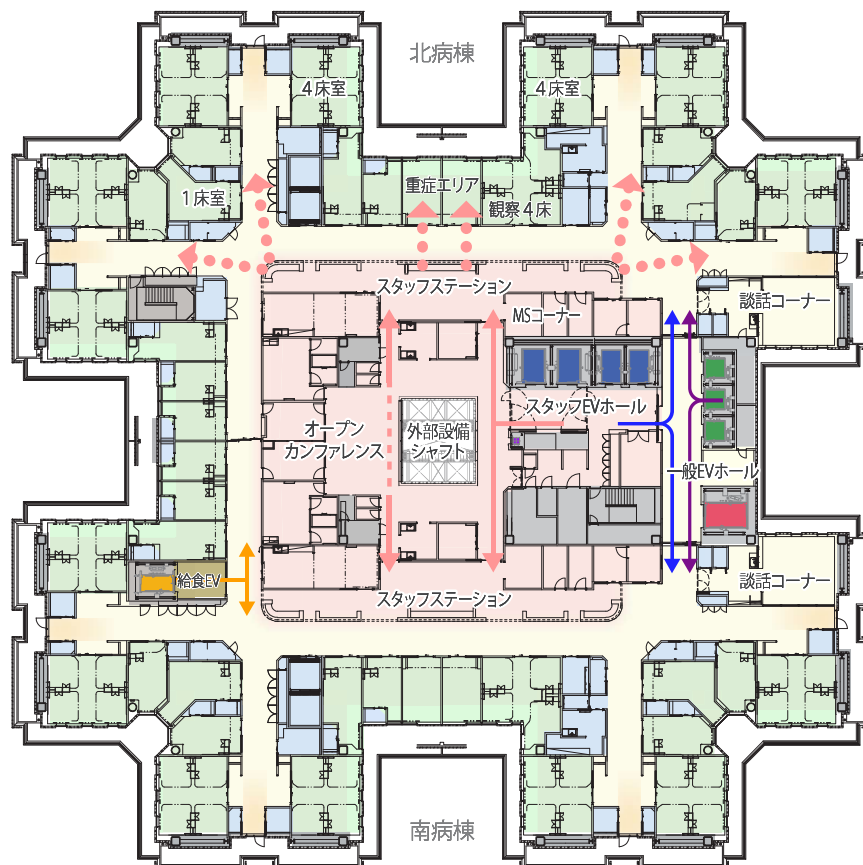
医療の高度化や環境変化に適応するため、室及び空間の拡張性や可変性を重視した整備を基本とし、患者の療養環境の充実や医療の担い手である医療スタッフに対する業務環境の向上を目指し、ハード面、ソフト面をともに充実させ、病院利用者・医療スタッフの満足度の高い施設を整備する。

地域医療支援病院であることから、紹介患者や救急患者を中心とした診療機能とし、外来については紹介外来制を基本とすることにより、高度急性期病院にふさわしい専門的な外来治療機能の充実を図る。

院内のスタッフと合わせ、地域医療機関スタッフの教育・研修を積極的に行うために、既存外来棟を改修し研修センター機能の充実を行う。

病棟 患者にやさしい療養環境の提供

- ・ 入院患者の療養環境に配慮し高層階に病棟部門を配置
- ・ 1フロア2病棟とし、フロア中央のスタッフエリアを病棟間で共有する「2 in 1 病棟」を採用
- ・ 結核病棟、感染病棟は感染対策として独立した空調・衛生設備を整備
- ・ 緩和ケア病棟は眺望等に配慮し、ゆとりの感じられる明るいラウンジを設置
- ・ 血液内科病棟には無菌室 22 室（クラスⅠ -2 室、クラスⅡ -20 室）を整備



一般エレベーターホール



スタッフステーション



談話コーナー



4床室



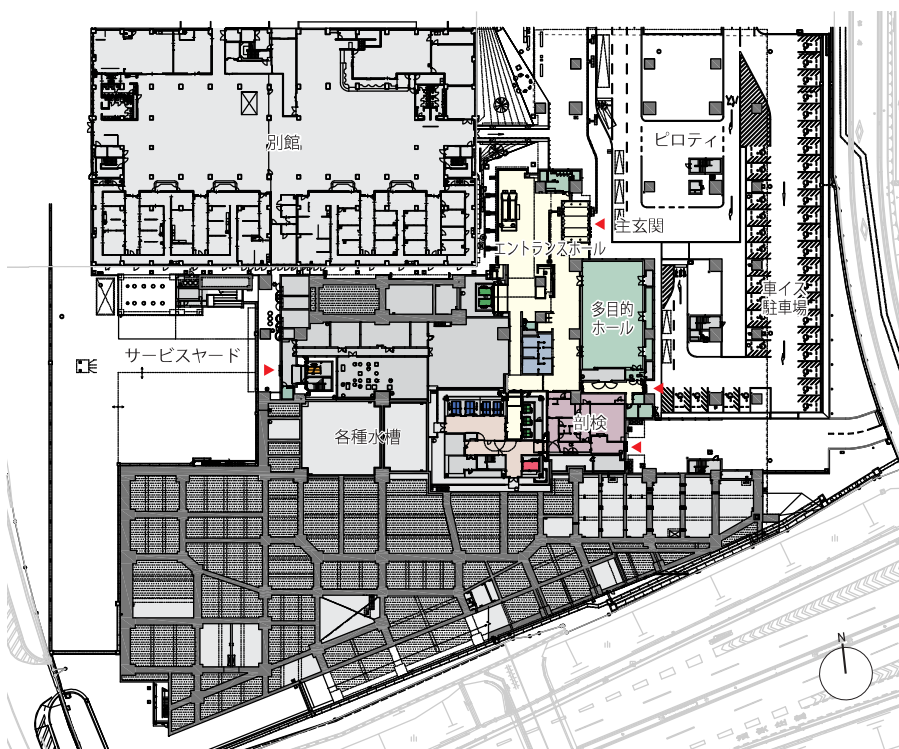
1床室



10階緩和ケア病棟ラウンジ

1 階 来院者の動線に配慮したワンストップの総合案内

- ・ピロティ形式（屋根のある屋外空間）によりバス停を含む広い車寄せや屋内型の駐車場などを確保



1 階平面図



ピロティ



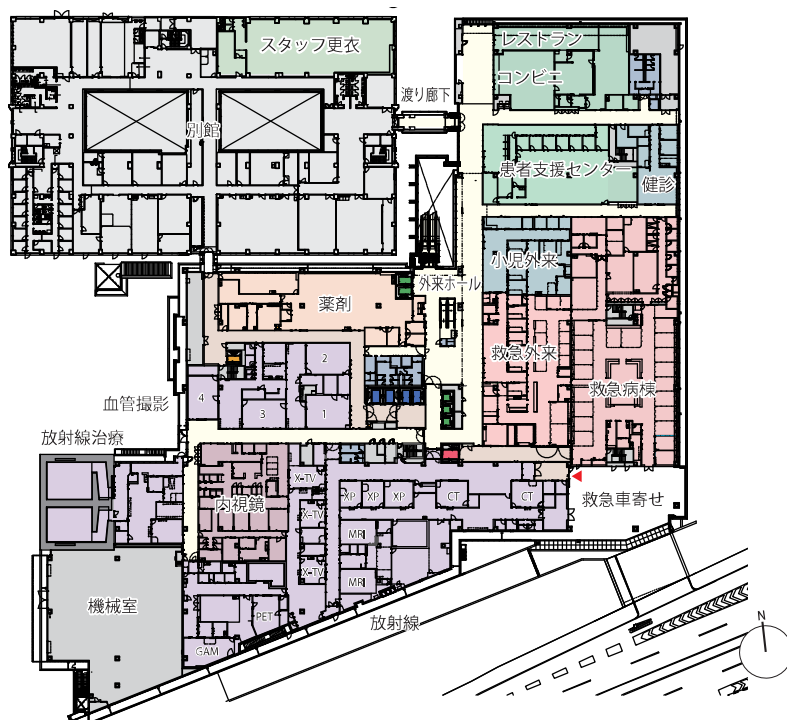
エントランスホール



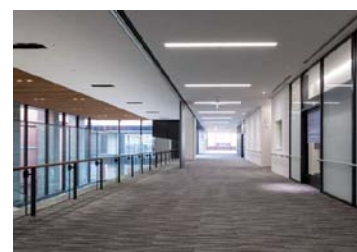
多目的ホール

2 階 救急関連部門をワンフロアに集約

- ・救急患者の迅速な治療・検査のため救命救急センターを中心に放射線、内視鏡、薬剤を配置
- ・救急外来と小児外来を隣接させ、患者が急増する際には診察エリアを共有できる配置計画



2 階平面図



外来ホールと吹抜



救急病棟



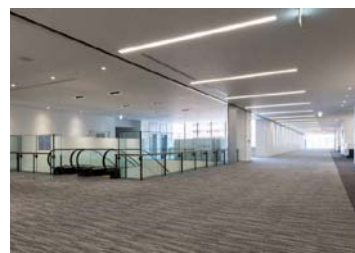
レストラン

3階 外来患者の動線の基点となる南北に貫いた外来ホール

- ・一般外来診察室、採血、検査を配置し、外来患者の円滑な動線を確保
- ・外来診察室は来院者に分かりやすい配置となるよう主動線から枝状に配列



3階平面図



外来ホール



外来受付

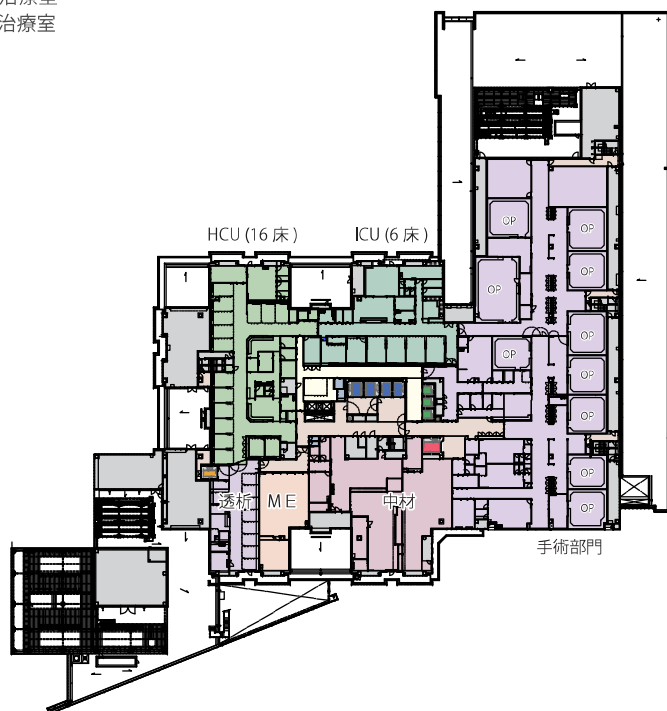


外来待合

4階 直線の廊下で結ばれた機動性の高い手術フロア

- ・手術エリアに ICU と中央材料滅菌室を隣接させ重症患者の搬送や滅菌材料の搬送に配慮
- ・HCU は手術又は ICU から円滑に患者搬送が行えるよう直通的の通路で連結

ICU：集中治療室
HCU：高度治療室



4階平面図



手術ホール



ハイブリッド手術室

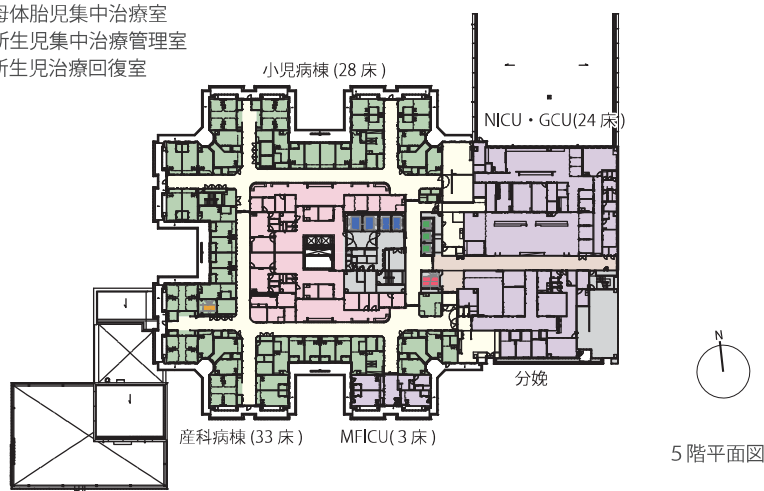


手術室と直結する ICU

5階 ワンフロア集約で密な連携が可能な周産期母子センター

- ・救急エレベータを中心に分娩、MFICU、NICU、GCUを配置し、産科と小児病棟を近接配置
- ・分娩とNICUを隣接し新生児の急変に対応。新生児の連れ去り防止のためセキュリティも強化

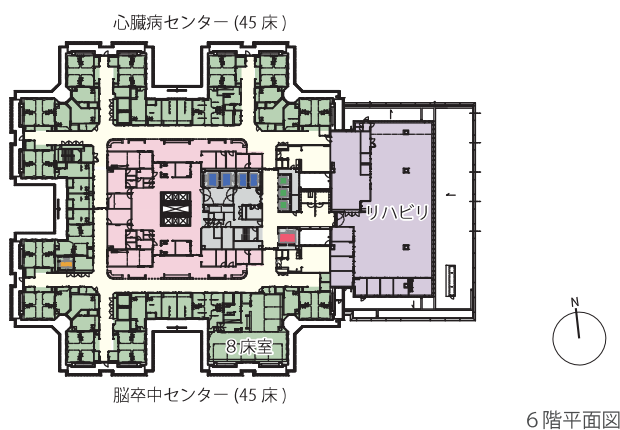
MFICU：母体胎児集中治療室
NICU：新生児集中治療管理室
GCU：新生児治療回復室



6階 病棟リハが中心となる急性期型病院の新モデル

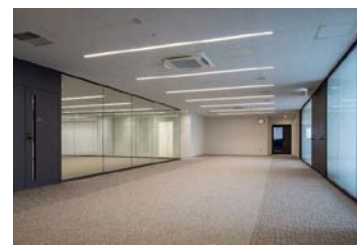
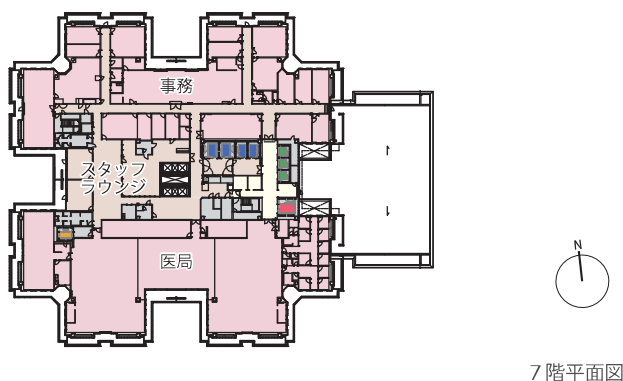
- ・心臓病センターと脳卒中センターに隣接してリハビリ部門を配置し早期リハに対応
- ・脳卒中センターでは将来的にHCU型の看護に対応できる病棟レイアウト

SCU：脳卒中ケアユニット



7階 スタッフの交流を促すナレッジフロア

- ・診療部門と病棟部門の中間階に管理部門と医局を配置
- ・がん医療に携わる専門職が診療科や職種の枠を越えて集まり、患者さんの症状・状態を把握し、治療方針などを検討するカンササーボードやカンファレンス室などを多数配置することで多職種連携を促進





平成28年11月 工事着手



平成29年1月 杭工事施工中



平成29年3月 地中水槽施工中



平成29年4月 1階施工中



平成29年6月 鉄骨建て方開始



平成29年8月 2階施工中



平成29年10月 6階施工中



平成30年1月 鉄骨建て方完了



平成30年3月 外部仕上げ施工中



平成30年5月 内部仕上げ施工中



平成30年8月 竣工(外構を除く)

- 敷地面積：63,697㎡
- 建築面積：15,194㎡(別館を含む)
- 延床面積：60,676㎡(別館を含む)
- 階数：地上11階
- 最高高さ：55.5m

建物概要

- 事業名称：鳥取県立中央病院建替整備事業
- 所在地：鳥取県鳥取市江津730
- 都市計画区域：都市計画地域内(市街化区域)
- 用途地域：第一種中高層住居専用区域
第一種住居区域(国道9号沿い敷地境界線より北方向50mの部分)
- 防火指定：指定なし
- 地区計画等：なし
- 指定容積率：200%
- 日影規制：4時間(10m以内)
2.5時間(10m超)
測定地盤4m
- 主要用途：病院
- 工事種別：増築
- 構造：[新病院棟]
鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
及び鉄筋コンクリート造(免震構造)
[別館]
鉄筋コンクリート造
(1996年竣工 耐震構造)
- 設計監理：日建・安本設計共同体
- 施工：建築：清水・やまこう・大和・藤原特定建設工事共同企業体
電気：中電工・岡田電工・吉備総合電設特定建設工事共同企業体
空調：新日空・大成設備・日新工業特定建設工事共同企業体
衛生：三晃空調・西日本環境・サンユー技研特定建設工事共同企業体

昨年の11月25日(日)から27日(火)の二泊三日で、台湾へ研修旅行に行ってきた。一水会と建築士会中部支部の混成で、男子19名、女子6名の総勢25名の賑やかな団体となりました。「一水会」という団体名はチョット不味いという事で、急遽「建築友の会」と銘打って、岡山空港から出発しました。日本で8:00の時台湾は7:00と1時間の時差があり、この程度なら得した気分になります。

◆11月25日

岡山空港15:55発→桃園国際空港18:00着(現地時間)→入国審査後台北市内へ

◇今回の台湾研修の目的は、例年12月の第一水曜日に開催している『一水会』の忘年例会を先取りして、士会中部支部との合同忘年会です。初日は入国後、宴会場(20:30頃着)へ直行し、井手添支部長の音頭で懇親会に突入しました。
→ 終了後ホテルへチェックイン

◆11月26日

ホテル9:00出発(日本時間10:00)→台北市内と周辺の観光

◇①中正記念堂→②故宮博物院→(昼食・ショッピング)→③十フン(散策・天燈上げ)→④九フン(散策・夕食)→(ホテル)→(各自-自由行動?)

①中正記念堂

●初代総統の蒋介石を讃える広大な記念堂です。中正公園の中でそびえる中国洋式の記念堂で、白亜の基台と青瓦の屋根が特徴です。写真はこれから始まる衛兵の交代儀式ですが、儀式が終わると両側に衛兵が微動だしないで2時間に亘って蒋介石を守り、その後また交代の儀式が始まります。



②故宮博物館

●世界四大博物館の一つで、中国の歴代皇帝のコレクションや中国文化の貴重な文物が常設展示してあります。皆さんご存知の、角煮の質感に近い「肉形石」やキリギリスの止っている「翡翠の白菜」が有名です。



③十フン

●皆さんがテレビなどで見かける事があると思いますが、線路の両側に店が立ち並び、天燈に願いを書いて天高く打ち上げます。台北市内から1時間くらいの所にあります。私達も二人一組で打ち上げましたが、最中に列車が入って来ました。



④九フン

●かつて金の町として賑わった、山あいの集落です。結構急な階段の両側に台湾グルメと小物店が立ち並び、映画「千と千尋の神隠し」の舞台を彷彿させるレトロな雰囲気な街並みです。



◆11月27日 帰国

桃園国際空港 11:10発(現地時間)→岡山空港 14:35着

◇今回初めて、一水会と士会中部支部とのコラボで海外研修を企画しましたが、評判は上々でした。2泊3日と強行スケジュールでしたが、その分中身の濃い内容だったと思います。

担当幹事:山下正喜(有)安本設計事務所
藤井泰徳(有)フジ総合設計事務所

平成30年11月9日～平成30年11月10日、高知県（香美市、高知市、梼原町）愛媛県（今治市）全行程約1,000Kmをバスで巡る研修でした。

最初の研修先は、高知県立林業大学校でした。

平成30年4月の本格開校に合わせて、完成した新校舎を授業中ではありましたが、ご案内のもと見学しました。

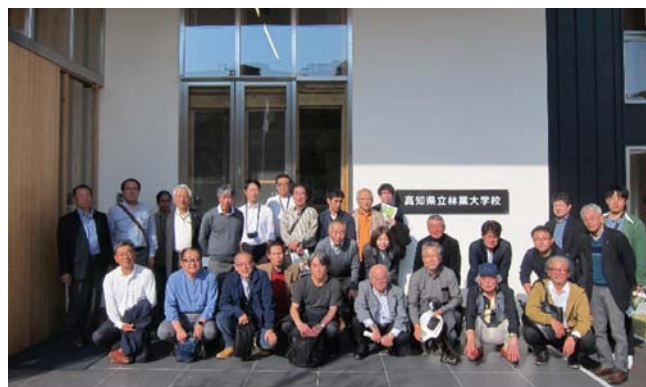
新校舎は高知県が需要拡大に努めている新建材「CLT」を活用した、木の肌触りから暖かみを感じ心地良のいい空間でした。



「CLT」を使った教室



隈 研吾 校長の部屋



玄関前で集合写真

次は、高知県立牧野植物園を見学しました。この建築はシェル型の大屋根が特徴的で、周りの植物が成長するほど自然に溶け込むような施設であり、木のぬくもりや、四季折々の植物を感じられる



本館 軒下

半野外的空間部分が心地よい空間となっていました。

これで1日目の研修も終わり、お待ちかねの懇親会となりました。「料亭 瀨長」にて、土佐芸妓さんとお座敷遊びを堪能する企画です。



踊り手の皆さんです

乾杯の後、酔いの方も徐々にいい感じとなり、いよいよお座敷遊びの始まりです。まずは芸妓さんの踊りに続き、有志による「しばてん踊り」土佐流・仮面舞踏会です。「しばてん手拭い」で顔を覆って、お酒も入っていい調子、皆さん楽しく踊っていらっやいました。



続いては「可盃」「べろべろの神様」の唄で囃したてながら、各盃の図柄のついたコマを回し、コマが止まった時に延長線上にいる人が「当たり」となり、図柄の盃のお酒を飲み干すゲーム



♪菊の花～ 菊の花～
開けてうれしい菊の花
♪誰が取るのか菊の花～

です。天狗の盃は一合入るとか。今回、一気に飲みで幸いなことに潰れる方はいらっやいませんでした。最後は別名、お酒のロシアンルーレット「菊の花」盃を盆に伏せて

並べ、料理に飾られている小さい黄色の菊の花を盃に忍ばせ、手拍子まじりの囃子唄を歌い、その唄に乗せて順番に盃を返します。返した盃に菊の花があれば「当たりです！」返した盃全てにお酒を注ぎ全部飲み干すゲームです。囃子唄のメロディーはなぜか、明石家さんまさんが扮していた「アミダババア」のテーマソングで「アミダババアの唄」の一節、皆さん大合唱で盛り上がりました。

高知の料理やお酒を堪能し、皆さん楽しい一時を過ごされたと思います。

2日目の最初の訪問先は久礼大正町市場の町歩き探訪です。「市場」と聞いていたので早朝から賑わっているイメージがあったのですが、大正町市場の最も賑わうのは午後2時過ぎからだそうで、時間が早かったせいもあり、開店している店も少なかったのですが、薫焼きの鯉のたたきを見つけ、皆さん高知の味覚に舌鼓を打っていました。



薫焼きの鯉のたたき



鯉のたたきを堪能

食べてばかりではなく、津波対策施設も見学してきました。久礼海岸で予測される津波の高さは最大で海拔13mに達するとのこと。一方このタワーは一番上で海拔23m、2階でも16mあるそうです。



津波対策避難タワー

次に訪れたのは梶原町庁舎です。新国立競技場の設計者隈研吾さんが設計された梶原町の総合庁舎です。梶原町の掲げる環境モデル都市梶原に相応したランドマーク



梶原町庁舎 外観

で、美しい木造の公共建築物でした。庁舎の構造体や内装は、最大限に地場の木材を活用した設計で、その構造には、自然空調を前提とした外部環境と呼吸できる仕組みや太陽光発電、氷蓄熱、木製受水槽、木材断熱機密サッシ・ブラインド等が組み込まれた最新のエコシステムです。外観の美しさと機能の美しさを兼ね備えた庁舎でした。



梶原町庁舎 内観



庁舎前で集合写真

見学の後、梶原町にある隈研吾さんが設計された雲の上のホテルにて昼食を取り、最後の訪問施設である伊藤豊雄建築ミュージアムに向かいました。



瀬戸内海を背に

夕暮れに近い時間帯に到着し、スティールハットという多面体のミュージアムや周辺を散策しました。目の前に広がる瀬戸内海や周辺の島々など夕日に映える美しい風景を十分満喫させていただきました。

最後に、今回の県外研修を企画された総務企画委員の方々をはじめお世話頂いた皆様、ありがとうございました！

会議報告

■第4回理事会

日 時／平成30年9月20日(木) 10:30～

場 所／伯耆しあわせの郷

出席者／理事16名、監事2名

議 題／議案

正会員の入会の可否について

協議事項

倉吉市との災害協定の締結について

県との意見交換会の提出議題について

特定建築物定期調査報告の業務報告報酬算定基準の周知活動について

県外研修の概要及び募集方法について

中国地方整備局との意見交換会について

報告事項

未来への家づくりフェアについて

会議等開催状況

その他

今後の日程

鳥取県企業局からのお知らせ

■第5回理事会

日 時／平成31年3月25日(月) 10:00～

場 所／エキパル倉吉

出席者／理事15名、監事3名

議 題／議案の審議

平成31年度事業計画(案)の承認について

平成31年度収入支出予算(案)の承認について

平成31年度定時総会の招集(案)について

協議事項

定款の一部変更(案)について

倉吉市役所建設時資料の作成協力について 他

報告事項

会議等開催状況

その他

今後の日程

■第4回三役会

日 時／平成30年9月7日(金) 10:30～

場 所／事務所協会事務局

出席者／会長、副会長、専務理事

議 題／議案

正会員の入会の可否について

協議事項

倉吉市との災害協定の締結について

県との意見交換会の提出議題について

特定建築物定期調査報告の業務報酬算

定基準の周知活動について

報告事項

未来への家づくりフェアについて

平成31年新年互礼会について

会議等開催状況

その他

今後の日程

鳥取県企業局からのお知らせ

■第5回三役会

日 時／平成31年3月11日(月) 10:00～

場 所／事務所協会事務局

出席者／会長、副会長、専務理事

議 題／議案

第5回理事会提出議題について

■第2回広報編集委員会

日 時／平成30年9月14日(金) 15:00～

場 所／ハワイアロハホール

出席者／担当副会長、委員長、副委員長、委員

議 題／会報建築とつとり98号の校正 他

1) 会報原稿の校正について

2) その他

■日事連 青年話創会

日 時／平成30年10月5日(金)

場 所／TKP新橋カンファレンスセンター

参加者／佐藤理事

■第42回建築士事務所全国大会(東京大会)

日 時／平成30年10月5日(金)

場 所／帝国ホテル

参加者／霜村会長他5名



■県外研修会

日 時／平成30年11月9日(金)～10日(土)

場 所／高知県立林業大学校、牧野植物園、高知城

歴史博物館、オーテピア高知図書館

梶原町庁舎、伊東豊雄建築ミュージアム

等の視察

参加者／28名

建築士事務所キャンペーン

■「住まいの無料相談会」

日 時／平成30年9月30日(日)

場 所／鳥取県立米子産業体育館

参加者／建築無料相談員8名



日 時／平成30年10月13日(土)～14日(日)

場 所／鳥取県立鳥取産業体育館

参加者／建築無料相談員6名

日 時／平成30年10月21日(日)

場 所／倉吉駅前噴水広場

参加者／建築無料相談員11名

講習会

■平成30年度「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」

日 時／平成30年10月24日(水) 10:00～

場 所／伯耆しあわせの郷

受講者／19名

■平成30年度「防火設備定期検査および特定建築物定期調査の実務講習会」

日 時／平成30年10月30日(火) 9:00～

場 所／伯耆しあわせの郷

受講者／25名



■平成30年度「既存住宅状況調査技術者講習」【新規講習】

日 時／平成30年11月13日(火)9:30～

場 所／伯耆しあわせの郷

受講者／15名

■「実例に学ぶ建築士事務所のトラブル予防」研修会

日 時／平成30年12月4日(火)9:00～

場 所／伯耆しあわせの郷

講 師／㈲日事連サービス 顧問 中川 孝昭

(一社)鳥取県建築士事務所協会

副会長 吉田 成年

受講者／6名(会員2名、会員外4名)

■「実務者のための工事監理ガイドラインの運用解説」講習会(DVD講習)

日 時／平成30年12月4日(火)13:00～

場 所／伯耆しあわせの郷

受講者／7名(会員4名、会員外3名)

■平成30年度第4期一級/二級/木造建築士定期講習(事務所協会担当)

日 時／平成31年2月13日(水)9:00～

場 所／伯耆しあわせの郷

DVDによる小規模講習

受講者／18名

建築物耐震診断等評価業務

■第60回鳥取県耐震診断等評価委員会

日 時／平成30年12月17日(月)

場 所／とりぎん文化会館

対象建物(町有施設)4棟

■鳥取県耐震診断等評価委員会(専門委員会)

第60回 平成30年12月3日(事前審査)

平成30年12月12日(指摘事項確認)

平成30年12月26日(指摘事項確認)

受託業務

■鳥取市住宅改修指導員派遣事業

実施件数 平成30年 9月 1件

10月 1件

11月 1件

12月 2件

■鳥取県木造住宅耐震化専門業者公表考査

日 時／平成31年1月29日(火)13:30～

場 所／伯耆しあわせの郷

受験者／4名

新年互礼会

■平成31年新年互礼会

日 時／平成31年1月22日(火)16:30～

場 所／米子ワシントンホテルプラザ

参加者／88名(来賓15名、正会員33名、賛助会員

38名、事務局2名)



会員の異動

■正会員入会(平成30年9月～)

㈱藤原組一級建築士事務所

〒680-0911

鳥取市千代水1丁目17番地

TEL:0857-30-3700

FAX:0857-30-3702

開設者：藤原 正

管理建築士：岩崎 孝広

やくら設計

〒683-0104

米子市大崎932-2

TEL:0859-25-1127

FAX:0859-25-1142

開設者：矢倉 通宏

管理建築士：矢倉 通宏

行事予定

■4月

26日(金) 平成30年度事業等監査会

// 第1回三役会

■5月

13日(月) 第1回理事会

24日(金) 平成31年度定時総会

倉吉シティホテル

編集後記

今回は鳥取県立中央病院特集号ということで編集にあたり鳥取県新病院建設推進室には、寄稿や資料提供等大変お世話になりました。また今回寄稿頂きました関係者の皆様にも御礼申し上げます。

建築とっとり99号は平成時代最後の発刊であり、この時代の変り目に委員長として編集に関わることに感慨深く想いつつ、新しい時代の次号発刊に想いを馳せ編集後記とさせていただきます。

広報編集委員長 小谷 真一



鳥取県立中央病院の設計から竣工までにいったい何人の人が関わったのだろう。
創り上げたのは多くの人の手であり、おおよそ22か月でこの建物が完成したことも含め
「人間の力」の凄さを感じずにはいられない。
そして「人間の力」がもつ可能性もどこまでも広がっているであろう。
(パース提供：鳥取県、文：小谷 真一)

建築とっとり 2019.3 第99号

発行／一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会

〒680-0022 鳥取市西町2丁目102 西町フロインドビル2F
TEL.0857-23-1728 FAX.0857-21-6112

URL: <http://31kjk.com> E-mail: jimu31@maple.ocn.ne.jp

編集：広報編集委員会